

## 第2回「都市計画基本方針検討」小委員会 欠席委員事前意見内容

## 【欠席委員：松本委員からの都市計画基本方針（案）への意見】

- 第1回小委員会で自分が意見を述べた、現行マスタープランの拠点の特性一覧を図化することについて、各地域の図を資料編に載せることはかまわないが、代表事例としての津地域は本編に残すこと。この図は、60分以内のアクセス性をイメージするのに良い図。
- むしろ、拠点の特性に係る個別の説明は前段でなされているので、特性一覧は資料編に移してはどうか。
- 主要な交通施設の配置（図）について、道路の配置と公共交通の配置を分けることはできないか。鉄道とバスについては、サービス水準毎に色分けがされるとなお良く、アクセス図のようなイメージで。
- 現行都市マスタープランの課題の整理とは、現行都市マスタープラン上の課題に捉えられる（と勘違いされる）恐れはないか。現行都市マスタープランを検討・検証した結果、みえてきた今の課題の整理だと、きちんと打ち出すこと。
- 都市づくりの方向の見直しの考え方（2章終盤）とこれからの都市づくりの方向（3章出だし）が、同じ内容を繰り返しているようで間延びして見える。強調したい内容を目立たせるなど、工夫が必要では。
- 三重県がめざす都市構造の形成にあたり、「都市経営の観点」、「都市防災の観点」、「都市活力の観点」の三本柱を打ち出すことは評価できる。（他に例もないのではないか。）
- 一般目線（県民目線）から見て分かりやすいはずの「美しく魅力と個性にあふれる地域づくり」が、新しい都市計画基本方針では抜け落ちているような表現に見える。現状を継続して取り組むことであれば、重要な事項であることが分かる表現を考えて欲しい。
- 厳しい表現が目立つが、県民が見て明るい展望（夢が持てる）書き方も大事だと思う。厳しい内容ばかりだと夢がみえないが、本来の目的・方向は、美しく住みよい街であるべき。